令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

都道府県名	熊本県
市区町村名	水俣市
自治体区分	

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
水俣市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	総合的な学習の時間で、学習支援に参加する地域ボランティアを探し、依頼する手続きが、教員の負担となっている。	市全体で地域学校協働活動推進員を中学校区に1人ずつ、計4人配置し、学校と地域の連絡調整等を行う。また新たなボランティアを発掘し、教員の業務の負担軽減を図る。	学校支援ボランティアを増やし、授業に求められる人材をリスト化することで、学校の要望に応え地域と学校を結ぶ。	ボランティアとしてリストに登録した人数	17	人	34	37	3	成果：学習支援ボランティアは、リストに17人登録されていたが、37人まで登録数を増やすことができた。課題：学校が求める学習支援ボランティアとリストに登録しているボランティアの支援内容が合致していない人が多い。改善点：学校の求める学習支援ボランティアを増やす。
水俣市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	中学校部活動の指導等に係る教員の業務負担・時間外勤務が発生している。	中学校部活動の地域移行を進め、地域の人材が部活動の指導を行うことにより、教員の業務負担の軽減を図る。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化、協働を図りながら、中学校部活動の地域移行を進める。	中学校部活動の地域移行の割合	0	%	0	0	2	中学校部活動の地域移行は3カ年で行うため、成果、課題、改善点は回答できない。
水俣市	②学校と地域の課題	通学路等の地域安全・地域防災	児童生徒が事故等に遭遇するのは学校だけではなく、安全上の課題が複雑化・多様化する中で、子供たちの安全を学校・教員で全てを担うことは困難である。	学校運営協議会、保護者や地域住民から報告のあった箇所を中心に学校、行政、警察で通学路を点検し、教員の業務負担軽減を図る。	学校・家庭・地域が協働し、通学路等の安全点検を実施する。	通学路等の地域安全について、学校と地域の一体的な取組を行った校数	6	校	7	6	3	成果：7校中6校の取組を行った。課題・改善点：なし
水俣市	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	課題解決力やコミュニケーション力など地域のリーダーとして活動するための必要なスキルを習得する機会が少ない。	市内唯一の高校である熊本県立水俣高等学校の生徒がリーダーとなって、小・中学生とチームを組み、共に学ぶことで、人材育成を推進する。	地域社会の形成に主体的に参画することができる人材を育成し、地域社会の発展に努力しようとする意識の醸成を図る。	高校生が講師となる研修	4	回	6	9	4	成果：地域社会の形成に主体的に参画することができる人材を育成し、地域社会の発展に努力しようとする意識の醸成が図られた。課題・改善点：なし